

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 楽生縁

目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 3 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は年6回開催しているが、参加委員が固定化し、内容が画一的になっているので、地域や家族に参加を呼びかけ、有意義な会議になるように取り組んでいく。	地域で活動している有識者や知見者を募り、会議がホームの繁栄だけでなく、地域の問題(高齢者や子供)を解決する場として、参加委員に協力してもらえる運営推進会議になるように、参加者全員で取り組んでいく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	職員の離職や移動が多いので、職員の定着を図り、利用者と信頼関係を築き、職員間で話し合い、介護技術の向上と、職員間のチームワークに取り組み、利用者の暮らしが快適になるように取り組んでいく。	職員の意欲や習熟度に合わせて外部の研修会に派遣し、他事業所の職員と交流を図り、刺激を受けて、職員の意識を高揚させ、介護力をつけて、職員一人ひとりのやる気に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。